

## 拒絶理由通知書

|          |                   |
|----------|-------------------|
| 特許出願の番号  | 特願2003-365479     |
| 起案日      | 平成20年 3月19日       |
| 特許庁審査官   | 豊田 好一 3568 5V00   |
| 特許出願人代理人 | 大塚 康徳 (外 3名) 様    |
| 適用条文     | 第29条第2項、第36条、第37条 |

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。



### 理 由

#### (理由1)

この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。

#### 記

本願請求項1乃至10、13、14、17、18と、本願請求項11、12、15、16とに係る発明は、特許法第37条各号に掲げる関係を有しているとは認められない。

この出願は特許法第37条の規定に違反しているので、請求項1乃至10、13、14、17、18以外の請求項に係る発明については特許法第37条以外の要件についての審査を行っていない。

#### (理由2)

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

#### 記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

(請求項1乃至10、13、14、17、18について・・・引用文献1、2)

印刷シミュレーションのターゲットとしてのターゲットプリンタと、該ターゲットプリンタのシミュレーション出力を行うシミュレーションプリンタとを選択し、各プロファイルを用いてターゲットプリンタ用に用意した画像データをシミ

ュレーションプリンタに出力させることは、引用文献1（特に【0027】乃至【0028】）に記載されている。

ネットワーク上でシミュレーション印刷を行うことは、引用文献2に記載された

引用文献等一覧

1. 特開2002-118765号公報

2. 特開平11-313216号公報

（理由3）

この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。



記

1. 請求項1, 7, 13, 14について

請求項1に記載された「プリントシミュレーション」と「印刷シミュレーション」との具体的な異同が不明である。また、他の請求項についても同様である。

2. 請求項5について

請求項5に「前記通信手段は前記データフォーマットの指定を前記ターゲットプリンタに通知する」と記載されているが、発明の詳細な説明の、具体的にどこに記載されたものか不明である。

3. 請求項18について

請求項18に記載された「記録媒体」の定義が不明である。

（審査基準第VII部第1章「コンピュータ・ソフトウェア関連、発明」に記載されている用語等を参考にされたい。）

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

なお、補正の際には、意見書で、各補正事項について補正が適法なものである理由を、根拠となる出願当初の明細書の記載箇所を明確に示したうえで主張されたい。

-----  
先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野      IPC第7版 H04N 1/46-62  
DB名
- ・先行技術文献      特開2003-110857号公報

特開2002-084433号公報

特開2003-303085号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

-----

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 画像処理（静止画）

TEL. 03 (3581) 1101 内線3571

FAX. 03 (3501) 0715

